

拓水

題字は 県漁連三浦会長

11月号
No. 182

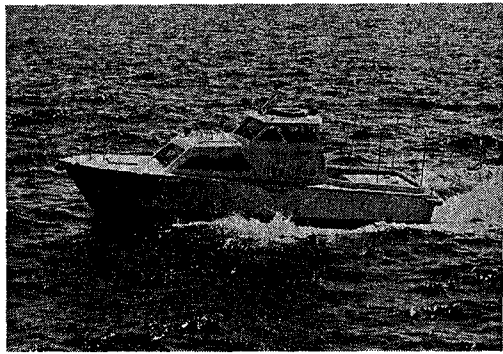
発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町123
発行人 三浦清太郎
TEL 078-6685-695
編集 拓水編集委員会
発行日 毎月30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

流出油に対する体制確立を

とくにのり網の保護に備えて

十月二十一日から二十二日にかけて、神戸市西部から魚住までと淡路島では若屋から志筑までの各漁協ののり漁場に、重油が漂着し、現在種付け中ののり網約二万六千枚余りが油をかぶるといふ大事故となった。

油流出事故は、小さなものでは、ほとんど連日のように神戸港内等で発生しているといわれ、のり網等の漁業に被害を与える事故は、近年では必ず十数件あり、その被害額も年々増大し、年間数億円にのぼっている。ことに、今回の事故は種付け中ののり網が直接被害を受けたため、漁業の受ける打撃は大きく、事故原因者に対する責任の追及も、声を大にして徹底的に行なう必要がある。



漁場環境調査艇「ちどり」竣工

突発的の事故に対する初動体制の確立が強く望まれている今日、かねてから県水産課で検討されていた漁場環境調査艇「ちどり」がこの程石川島播磨重工業(株)＝横浜＝で竣工し、去る10月14日明石港で進水した。

同船は今後県立水産試験場を基地として内海の漁場環境を調査し、今後の漁業生産の増大をはかるとともに、流出油事故、魚介類の異常へい死等の突発的の事故に対する調査を迅速に行ない、被害の拡大防止にその活躍が期待されている。

主要々目		調査用機器	
全長	7.30m	自動サンプリング装置	
全幅	2.45m	PH(水素イオン濃度)メーター	
深さ	1.20m	電磁濃度計	
排水量	約3.0トン	溶存酸素計	
総トン数	約4.9トン	濁度計	
船体材質	F.R.P	水温測定器	
	(強化プラスチック)	マルチコーダー	
主機関	GM4-53N105馬力	(自動記録計)	
	(農林馬力)	音響測深器	
	一般には149馬力	冷蔵庫	
速力	巡航 約18ノット	建造価格	8,950,000円
乗員	6名		

赤潮発生絶滅運動 力強く展開

近時瀬戸内海に猛威をふるう赤潮については去る七月瀬戸内海環境保全対策知事市長会議の重要議題として協議され、赤潮発生防止対策の確立、環境保全意識の醸成等に当たっては関係団体の協力を要し、さらには関係団体が民間と云わず県当局と云わず一丸となって団合を始める関係機関に、その排除対策の確立を要望し再三にわたって陳情された。

最近漸く環境保全対策、公害対策の一環としてこの対策が序々に講ぜられつつあります。

しかしながら瀬戸内の赤潮発生は近時ますます広域化し、長期化して、内海全体的に被害を受ける。たとえ本年一月十五日の明石の被害の場合も、夜間にたしかも誰かが故意に投棄したと思われる油によって三億円以上の被害を漁業者が

系統内に「合併促進会議」を

慎重協議で慎重協議

近時、国民経済の目ざましい発展と産業の近代化に伴い、漁協系統をとりまく社会的経済的環境はますます厳しさを加えつつあります。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

放流マズラハギ (ナガハギ)

状態を被歴し、抜本的対策のした。迅速なる実施を重ねてお願。本県からは明石瀬戸協議。会々長外一名が参加した。

効率的点において改善すべき点が多く見受けられ、その推進を図ることとする。

本県 合併は組合の自主的な運動により行なわれるべきものであるが、合併に際しては、事業の性的に資金コストの低減を図るためにその経営規模の拡大は不可欠のものと考慮される。このため、漁協系統組織は総力をあげて可及的の速やかに組合の合併を推進し、その経営基盤を強化する必要がある。

こうした場合から、今後存の合併協議会等により一層活用するとともに、都道府県段階に系統関係機関を主体とする合併促進会議(仮称)を設置し、この合併促進会議をして年次別合併計画の策定、合併推進の具体的方法の決定とその実施に当たらせる等系統関係機関の合併促進体制の確立を図ることとされた。

なお、市町村段階においても必要に応じ合併促進会議を設置させる等の措置をとることが望ましい。

四、合併組合の経営規模の指標(略) (以上)

採捕した魚を採捕した方は、採捕した日時は水試にお届けください。

1. 採捕した日(なるべく、くわしく)
2. 採捕場所
3. 使用漁具名(図のとおり)
4. 大きさ(図のとおり)
5. 標識(魚から、取りはずしてください)

兵庫県立水産試験場(明石市中崎町1-2)
TEL 078-912-7676

このため漁協の経営基盤の強化と効率化が一層必要である情勢に对应するため、合併の強力な推進が要請されておる次第であります。

今年度漁協同組合合併助成法の適用期限が延長されたことを機に合併の重要性に鑑み水産庁長官より各都道府県知事宛に漁業協同組合の合併促進について次のような通達(抜粋)がなされ、全国漁協系統として自主的の運動として、行政との密接な連携のもとに漁協の経営基盤を確立し、進め、各都道府県に合併促進会議を設置して漁協の合併を強力に推進する運動が展開されております。

10月の漁況と海況 (内海側)

●海況

1~2日大阪湾、4~5日播磨灘で実施した海洋観測結果によると大阪湾では表層22.6℃~23.8℃、中・底層で23.7~24.4℃を示し南西部海域では平年並の水温、それ以外の海域ではやや高目、また播磨灘では全海域各層共24.0℃内外を示し上・下層水温差はほとんどなく平年並の水温を示した。一方19日に実施した紀伊水道北部の観測結果では中・東部海域で各層23.0℃内外、西部で22.0℃台の水温値を示し、これらを平年に比較すると中・東部で0.5℃~1.0℃の高目となり西部では平年並からやや低目に経過した。

●漁況 (概況)

例年のとおり本月は当初よりノリ網の沖出し準備に従事し淡路、摂津、播磨沿岸の各漁協組では出漁船が少なくなり漁船漁業は次第に低調となってきているが現在主な漁獲対象魚としては前月に引続き大阪湾、上ノ瀬、沖ノ瀬周辺でサワラ、ハマチ曳網、中部から南部にかけてはフグ延縄、タチウオ曳網、小型底曳網でエビ類、ウマズラハギ、イカ、カレイなど。紀伊水道北部、沼島周辺では一本釣でタイ、アジ、キス、タコ、ハマチ、小型底曳網でエビ類、ハモ、イボダイ、イカ類、エソ、キスなど、鳴門南部~伊島周辺にかけては曳網釣でタチウオ、サワラ、延縄でフグなど、地先ではハマチ、タコなどの一本釣、一方播磨灘東部においても曳網でサワラ、ハマチ、タチウオ、中部~西部にかけては小型底曳網でエビ、イカ類、カレイ類、アナゴ、ウマズラハギなどが各海域の主な漁業と漁獲対象魚となっている。

●各地

(註漁業別漁獲量は1日1隻当り、@は1キロ当の値段何隻は操業隻数)

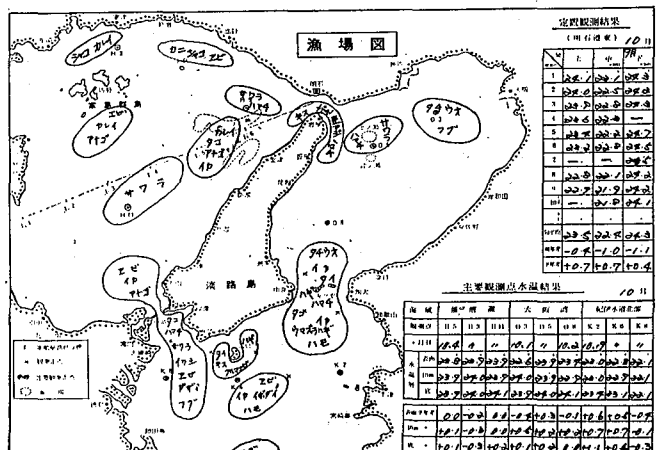
- 明石浦** 小型底曳網エビ10キロ@500、ハリイカ10キロ@450、メイトカレイ5キロ@1,700、アナゴ5キロ@550、タコ7キロ@400、ウマズラハギ10キロ@250、30隻。ハマチ五層網50~100尾(目廻800~900g)1尾500円、8隻。サワラ浮流し釣10尾内外(目廻2キロ)@800、20隻。タチウオ曳網100尾1尾90円、20隻。アカレイ延縄15キロ@1,350、2隻。マルアジ一本釣(上旬まで)100~200尾1尾100円10隻。
- 岩屋** エビ溜網白サエビ大5キロ中25キロ小5キロ@大800、中350、小120、45隻。サワラ曳網及浮流し釣6~7尾@720、40隻。ハリイカ、メバル1本釣イカ5キロ@420、メバル4キロ@1,000、40隻。フグ延縄大5~6尾(目廻2~3キロ)中15~16尾@2キロ台2,600、3キロ以上及び1キロ以下1,70025隻。ハマチ五層網50~100尾、1尾450、10隻。アナゴ延縄50キロ@大750~1,000、小350~400、6隻。キス流し網20~40キロ@600、5隻。八田網豆アジ1,000キロ@801統
- 由良** 小型底曳網ウマズラハギ500キロ@80、10隻。タイ3キロ@3,200、ハモ8キロ@1,700、ハリイカ10キロ@600、その他50キロ@300、50隻。磯建網チヌ10キロ@1,200、ハゲ類40キロ@300、その他15キロ@200、35隻。ハモ延縄40キロ@1,300、11隻。タイ延縄10キロ@3,300、10隻。各一本釣、タイ2キロ@3,300、60隻。ハマチ12キロ@800、60隻。タチウオ55キロ@300、20隻。タコ5キロ@600、30隻。棒突アワビ5キロ@1,100、サザエ10キロ@350、10隻。
- 沼島** 小型底曳網エビ大7キロ@500、小55キロ@100、ハモ5キロ@1,000、キス10キロ@320、イボダイ20キロ@270、カマス10キロ@160、ハリイカ15キロ@200、37隻。各一本釣、ウマズラハギ30キロ@220、15隻。マルアジ5キロ@350、10隻。タイ6キロ@大3,000、中2,400、小1,100、10隻。キス5キロ@650、8隻。エソ50キロ@100、6隻。磯建網クルマエビ1キロ@3,200、ウマズラハギ30キロ@180、25隻。フグ延縄7キロ@1.5キロ以上2,300、以下1,700、5隻。
- 福良** 小型底曳網クルマエビ3キロ@1,800、カワツ2キロ@1,000、ガザミ9キロ@800~1,000、イカ2キロ@230、25隻。サワラ曳網約7~8尾(目廻2~3キロ)@750、32隻。タチウオ曳網約120~130キロ(約400尾)@125、12隻。ハマチ一本釣、40~50キロ@570、7統。エソ釣50~60キロ@100、6隻。フグ延縄10キロ。@大2,200小1,500、10隻。イワシ刺網150キロ@70、20隻。

●特別事項

- ※前月に引続きタチウオ漁が例年に比し本月も月前半まで好調で現在南下主群が友ヶ島周辺から南部に移動しているが大阪湾北部、明石瀬戸西部では漁期が約半月程度長く近年にない豊漁であった。
- ※本年秋のサワラの回遊状況は前月号でも述べたとおり好調であるが中旬頃より上ノ瀬、鹿ノ瀬の順付きとなり浮流釣、曳網での釣獲状況と較べ播磨灘中部海域での流し刺網漁は急に低調となった。
- ※各海域でのフグ延縄漁が漁況を呈しはじめ又中旬より鳴門南部でマイワシ、ウルメイワシの刺網漁(1夜1隻150キロ)が始まったがアナゴ漁は前月に引続き低調である。

●今後の見込み

本年のウマズラハギの来遊量は昨年(大豊漁年)をかなり下廻ったものの内海各地ではしばしば好漁があり平年漁をやや上廻ったよう今後とも内海水温の下降とともに魚群の南下経路に当る友ヶ島水道周辺で操業する小型底曳網での好漁獲が後しばらく期待できるだろう。(水試岩井)



合併等規模の拡大 計画投資への脱皮が急務

漁協の経営及び事務処理を改善し、協同組合事業の総合的推進を図るための全漁連主催「近畿ブロック漁協役員研修会」が十月十一日(月)十三日(水)大阪市天満橋「キャッスルホテル」で開かれ、近畿四府県漁協役員をはじめ連合会関係者約七十人が出席した。

研修会は十一日午後一時、次いで午後三時~十二日開会され、一泊二日漁業資源の背景と対策一、二の経営管理とマーケティングについて日本水産資源保護協会・手塚多喜雄常務理事が漁業経営の理想は「自然の人的、物的各要素の均衡と調和」とした結合を、を更に大型化し、消費流通バランスを失い、資源状態の悪化を招いているので今後は「日本周知の大規模資源の大型模倣漁業」の事業実行の点について、漁協・水産業界のなすべきことは先ず消費嗜好の変化を知ると共に漁協経営の体質改善を図るべきである。すなわち成行を脱皮し計画投資経営への感覚を進めると共に、労務管理を大幅に改善し能力を高め、トップ機能を充実させねばならない。漁協は元来行政に育てられ、必然的に年功序列的人事管理が基本条件になり、企業との格差を大きくしている。

又、経営規模を拡大するためには、自己資本の充実労働環境の変化に対応し、人材力の確保が必要であり、そのためには、合併に又、協業化により事業規模を拡大することも重要なポイントである。

現在業界のかかえる問題は多々あるが深刻なのは、新流通機構の動向であり、消費市場の目まぐるしい変化を適確に把握し、時代に即応した協同理念のもとに経営管理を進めるべきではないか。この重要な点について最も重要な点につき講演があった。

三日目の十三日は「理事の権限と責任」について漁村教育会・野中六郎専務の講演があった。

「漁協の時間」11月放送予定表

日	曜	タイトル	タレント
1	月	全水共から(チョコーの規定改正)	全水共調査課長 山木 清
2	火	漁船保険から	漁船保険総務課長 横山 信一
3	水	漁協連から(各地にみるぎよきい推進)	漁協連事務部長 小林 大助
4	木	海難遭難児育英会から	海難遭難児育英会事務局次長 深沢 力三
5	金	わたしの発言 ①	全漁連専務理事 及川 孝平
6	土	系統の動き	全漁連広報課
7	日	②	全漁連広報課
8	月	(養殖教室) これからの真珠養殖	真珠研究所次長 林 知夫
9	火	③	
10	水	在来マスの種苗生産	④
11	木	⑤	
12	金	信連の動き	全漁連組合経営推進部
13	土	漁連の動き	全漁連公営対策課
14	日	系統の動き	全漁連広報課
15	月	水産研究	東海区水産研究所 宮崎 千博
16	火	⑥	
17	水	今月の海難防止	日本海難防止協会 塩原 次郎
18	木	⑦	
19	金	わたしの発言 ⑧	
20	土	⑧	
21	日	系統の動き	全漁連広報課
22	月	よりよい系統へ	⑨
23	火	⑨	全漁連販売部
24	水	⑩	
25	木	⑩	
26	金	⑪	
27	土	漁船の意	漁協連専務 月江基一郎
28	日	漁業経営とぎよきい	全漁連広報課
29	月	現地にみる経営	水産庁漁業振興課 石川 賢広
30	火	今月の漁業界の動き	水産記者 下田 清

船舶主機用3-1200馬力 船舶補機用3.5-1200馬力

底曳漁業の省力化にたくましい力を!

ヤンマーディーゼル

3ME15形(15馬力) 3M15形(15馬力) 2E15形(15馬力)

ヤンマーディーゼル株式会社

